

## 「基本設計説明書（案）－概要版－」に関する意見等について

基本方針・設計コンセプトについて(P1)	
(1)	(意見)市民が自信をもってお薦めできる施設であり、児童が安心して利用できる施設であることを希望します。
	【回答】施設の構造や設備の安全性の確保は当然のほか、今後、管理運営方針等を策定し、利用上の課題や見回りボランティアの導入等を検証し、利用児童の安全性の向上を図ります。
(2)	(意見)(構造計画)国土地理院の明治時代の地図で利根川水域を見ると過去に発生したらしい大地震災害のほとんどはそこに集中している。耐震安全性については、特段の配慮してもらいたい。
	【回答】建物には建築基準法の規定の1.25倍以上の耐震性能を持たせると共に、基礎の設計においても軟弱な地盤を考慮した検討を行い、十分な耐震安全性を確保しています。
(3)	(意見)「香取市中心市街地活性化基本計画」(H24.3 策定)との整合を図り、駅周辺地区が市の玄関口として、住む人と訪れる人が快適に過ごせる、賑わい・歴史文化を感じさせる整備を期待します。特に中核施設には、観光集客・文化交流の拠点機能による商業振興・生活サービス機能の充実を望みます。
	【回答】中心市街地活性化基本計画については、計画期間である 5 年を既に経過しておりますが、計画に掲げられたテーマ、基本方針等の継続を意識するとともに、市内公共施設や地域、市民団体等との連携も視野に、中心市街地の活性化と施設機能の充実を図りたいと考えます。
2. 建築計画概要について(P2)	
(4)	(意見)立地は駅から近く、最適地であり、基本方針の精神をしっかりと成し遂げてほしい。
	【回答】今後、実施設計で詳細を検討するとともに、利用者によって、より良い施設となるよう周辺環境を含めた施設全体の利

	用法を検証し、開館後を見据えて整備事業を推進します。
(5)	(意見)市民に分かりやすい説明を望む。
	【回答】基本設計の本編に掲載する図や写真を活用により、分かりやすい説明に努めます。
3. 配置計画について(P3)	
(6)	(質問)駐車計画 180 台が 155 台と 25 台減少した。立体駐車場については、どこに何台分できるものを検討しているのか。
	【回答】具体的な検討については、来年度以降、外構計画や駐車場の利用状況を詳細に検討したうえで決定する予定です。
(7)	(意見)誰もが気軽に立ち寄れ、心安らぐ施設であってほしい。配置については、様々な意見を踏まえたうえで、とてもよく考えられている。
	【回答】商店街を抜けた先に立地する敷地特性を活かし、1 階の施設中央に(仮称)佐原通りを設け観光案内やカフェスペースを点在させることで、誰もが気軽に立ち寄れる計画に配慮しています。
4. 外構計画について(P4)	
(8)	(意見)緑が多く配置され、シンボルツリーであるイロハモミジは佐原にとっても見合っている。
	【－】
5. 平面計画について(P5～7)	
(9)	(質問)学校と図書館の連携(香取市)の今後の見通しと考え方は。
	【回答】現在、図書館と市内学校の連携については、主に団体貸出という形を通じて行われております。団体貸出では、担当教諭からの相談に応じて、授業等で使用する特定の主題に沿った本を必要数だけ用意し、貸出しますが、状況に応じて、市外の図書館に協力を依頼する事もあります。

	<p>平成29年度の学校への団体貸出冊数は合計1,345冊でした。</p> <p>また、平成23年度には市内全小学校を対象として希望を募り、</p> <p>住民生活に光をそそぐ交付金で購入した、3,982冊の本を貸与する、学校図書館支援事業を現在まで継続しております。</p> <p>平成23年3月には学校との連携を踏まえた「香取市子どもの読書活動推進計画」が策定され、その後、国、県の同計画の進捗状況を踏まえて、平成28年に「第二次香取市子どもの読書活動推進計画」が策定されております。</p> <p>今後も同計画に沿った形で図書館活動を広く啓発するとともに、市内学校との連携を更に深めてまいりたいと考えております。</p>
(10)	<p>(質問)電子図書に対する今後の見通しと考え方は</p> <p>【回答】電子書籍の導入に関しましては、場所を取らず、汚破損の心配のないことから、現在、図書館界でも広く注目を集めております。</p> <p>また、現行の図書館システムでも電子書籍の導入は可能となっております。</p> <p>しかし、実情をつぶさに調べてまいりますと、一般の方々の期待する電子書籍、電子図書館とは甚だ乖離があることに気づかされます。</p> <p>一般に、電子図書館、電子書籍の利点といえば、新刊書が、待たずに、24時間いつでもすぐに自宅で読むことができるというイメージがありますが、まず、出版された全ての書籍が電子書籍化されるわけではありません。</p> <p>次に、電子書籍化された資料の全てが図書館向けに販売されるわけではありません。</p> <p>そして図書館向けに販売された電子書籍はあくまでもライセンスの許可であり、図書館の蔵書になるわけではありません。つまり、なんらかの理由で会社が電子書籍の運営やサービスを止めた時点で閲覧できなくなります。</p> <p>更に、ひとつのライセンスでは、一度に閲覧できる利用者は一名だけであり、同時に2名以上が利用するような場合は、あらかじめ追加分のライセンスを取得する必要があるため、紙の本のように他の図書館から借りることもできません。</p> <p>また、現在のところ、電子書籍と一般書籍の値段の差はさほど大きいとは言えず、逆に図書館向け電子書籍のライセンス料は一般向けの電子書籍販売価格よりも割高となっております。</p> <p>先進の図書館を有する自治体においては、通常の図書館と並行して電子図書館を運営している事例もありますが、これらは</p>

	<p>複数の出版社と独自の契約を結んでおり、中小の自治体における公共図書館では、現時点における電子書籍の導入は、あまりメリットが見込めないと思われます。</p> <p>今後、図書館では出版業界の動向、また、市民の意向を考慮し電子図書の導入について随時検討したいと考えております。</p>
(11)	<p>(意見)子育て世代支援施設と図書館を結ぶ直通階段なくなり、吹き抜けを残し意味がない気がする。</p> <p>【回答】吹き抜けにより図書館の児童ゾーンと子育て世代支援施設のにぎわいの連続性が生まれることから、複合公共施設のメリットを活かすことが出来ると考えております。</p>
(12)	<p>(意見)屋上に眺望スペースと屋上緑化の検討してほしい。</p> <p>【回答】屋上に設置した展望テラスから佐原駅・駅前商店街、試食テラスからは、利根川方面を望むことができます。屋上緑化については、メンテナンスコストに配慮し、基本設計では採用していません。今後、実施設計の段階で、コストを踏まえ検討します。</p>
6. 立面計画について(P8)	
(13)	<p>(意見)誰もが「佐原」を連想でき、落ち着ける外観デザインだと思う。</p> <p>【ー】</p>
(14)	<p>(意見)屋上と外壁廻りの仕上げの質感を上げて欲しい。</p> <p>【回答】素材については、今後、実施設計の段階で、デザイン・コスト・メンテナンス性などを総合的に判断し決定する予定です。</p>
7. 環境配慮・防災計画について(P8)	
(15)	<p>(意見)災害時に小規模ではあるが避難可能な施設であることを周知する必要がある。</p> <p>【回答】新規施設であることから、開館に合わせ、市の災害対策、防災計画などと併せて広く周知を図ります。</p>

8. 設備計画について(P9)	
(16)	(意見)人感センサーについて、トイレ内は勿論ですがトイレ本体(便器)も導入するのか。
	【回答】小便器の洗浄には人感センサーを計画しています。大便器には計画していません。
(17)	(意見)誰もがいつでも立ち寄りやすいトイレとなるように配慮して欲しい。
	【回答】各階にトイレを配置するのはもちろんのこと、多目的トイレも各階に配置します。また、各男子・女子トイレに子どもと一緒に入れる簡易多機能ブースを設け、子育て世代にも配慮した計画としています。
(18)	調理室には、IHの他にガス設備も検討してほしい。
	【回答】近年の類似施設の調理室では、安全面の観点からIHの採用が一般的です。別フロアーになりますが多世代が利用する複合施設として、安全面を優先しました。最終的には、今後の実施設計で利用者の意見などから必要性を再検証し、決定します。
9. 工事費概算・全体事業スケジュール・工事工程表(案)について(P9)	
(19)	(質問)工事費費用 44 億 8,100 万円の中に立体駐車場分は含まれているのか。
	含まれていない。今後、用地の検討や外構計画の検証と併せ、必要台数等を決定のうえ、今後の実施設計等の段階で具体的な建設費用を明らかにします。
(20)	(意見・質問)・目標金額以内と考えれば事業費は良いと思うが、開館は3年ほど、当初計画より延期となるのか。 ・使用開始を待ち望んでいますが、少し延期することが残念です。
	【回答】別途説明予定。
(21)	(質問)解体工事費は、以前実施した旧清見屋解体時の工事費か。新規であればどのような内容か。
	【回答】以前実施した旧清見屋の解体工事は地表面から1.5mの深さまでを対象に実施されたため、地下躯体の一部と既存杭の多くが残存しています。工事費概算には、残存躯体の解体工事費(残置する基礎有り)と既存杭の引抜き工事費が含ま

	<p>れています。実施設計段階での事業費の大幅な増加を避ける為に、基本設計では新設杭工事に影響を与えない範囲で最大の引抜き本数分の費用を見込んでいます。(残置する既存杭有り)</p> <p>実施設計段階では、杭引抜きを行った場合の周辺地盤への影響を考慮して引抜き対象杭の精査を行う予定であり、費用の変動が見込まれます。</p>
10. その他	
(22)	<p>(意見)開館を待ちわびています。</p> <p>【－】</p>
(23)	<p>(意見)2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催までにインバウンドをはじめとする内外の観光客を集客することで、地域経済の活性化を目指したいので、佐原駅周辺地区での今回の複合公共施設整備事業が遅れ、間に合わないのならば、当面の代替案を検討して欲しい。</p> <p>【回答】複合公共施設については、H29年1月に策定した「佐原駅周辺地区複合公共施設整備事業基本計画」において、東京オリンピック・パラリンピックの開催から1年遅れの2021年度中の開館予定となっています。</p>